



2013年度 外報紙

2013年度スローガン

創造と挑戦 地域のリーダーとして一步前へ
新たな自分、そして新たな南長野の為に

8月例会

8月3日(土)
8月4日(日)

聖山オートキャンプ場

自然体験！ サマーキャンプin大岡

企画担当 ■南長野のたから育成委員会■

八月三日(土)から四日(日)の二日間にかけて、聖山オートキャンプ場にて南長野のたから育成委員会主催で、八月例会「自然体験！サマーキャンプin大岡」を開催しました。

本年は、二五名の募集定員を超過するほどの応募数があり、二日間にかけて地元小学校の子供たち二五名の夏休みの思い出に自然を体験していただく事業内容を実施しました。

まず、第一日目お互い初めて会う子供たち二五人の自己紹介から始まり、その後、聖山の登山を行いました。登山では、比較的傾斜が緩やかだったため、途中でリタイヤする子供もなく、全員無事に山頂に登ることが出来ました。山頂に着いてからは、記念撮影を行いその場所で昼食をとり少し休んで下山しました。

そして、場所を移して子供たちが楽しみにしていた「魚のつかみ取り体験」を行い、冷たい水の中、一生懸命に魚を追う子供たちの姿が印象的でした。また、取った魚をさばいたりする子供たちや魚を串に刺す子供

ち等とても貴重な体験をすることが出来ました。

その後は、子供たちに献血のお勉強時間を設け、夕方になり聖山オートキャンプ場に場所を移し、子供たちの夕食の準備が始まりました。飯盒炊爨など初めて行う子供たちもいて協力しながら自分たちの夕食を作る姿を見ることができました。大自然の中で味わうカレーライス「おいしい」という子供たちの声が響き渡りました。食事の後は、花火大会を行い第一日が無事に終了いたしました。



第二日目の朝は、ラジオ体操から始まりました。朝食は各チームごとで協力しあって火を起こしベーコン目玉焼きを作りました。とてもおいしいという子供たちの声が聞けました。

その後、信州ツキノワグマ研究会の先生に自然の動物たちのお話を聞きました。子供たちもみな普段目にしない動物たちの話を熱心に聞いていました。それから動物の痕跡を見つげるために山を散策し、動物の痕跡が見つげると一同盛り上がり、子供たちは身近に自然の動物を感じる事が出来ました。

昼食はパーベキュー。普段は野菜を切ったりしない子も真剣に調理をしていました。



食後のスイカ割りでは、チームごとに「右た左だ」のかけ声のもと、笑顔があふれる時間となりました。最後に今回のキャンプ体験についての感想を一人ひとりから発表していただき、二日間のキャンプ体験に幕を下ろしました。帰る時の子供たちの清々しい表情はとても印象深いものとなりました。

委員長所感

酒井 総一郎

子ども達の未来を創造する事業、どのようなテーマにするのか予定者段階から色々な方々とお話をしている中、昨今の子ども達は自然の中で体験活動をする事が少なくなっている事を聞きました。本事業では参加者には、ただ楽しいだけではなく学びの面も取り入れるように計画し一人ひとりが自ら学び、自ら考える力を育むことを目的と致しました。心配していた参加募集も早期締切という嬉しい悲鳴となり、当日は晴天に恵まれ過ごしやすい気候の中、二五名の小学生は大きなケガもなく無事に親御様の元へお返しする事が出来ました。年齢や学校、性別関係なく仲良く遊び興味があつた事には積極的に参加し、更にはグループ活動による協調性、チームワーク、リーダーシップを発揮するなど子ども達は沢山の経験、学びが出来たと思えます。次代を担う子ども達が、たくましく「心豊かに成長する事」「健やか身体」を育む事が私達全ての願いであり青少年育成の根幹であると考えます。

最後に、皆様のご協力のお陰で二日間という長丁場の例会を無事に開催する事が出来ました。誠にありがとうございました。



第二回通常総会

担当 ■ 総務広報委員会

二〇一四年度理事長予定者

田村 嘉邦

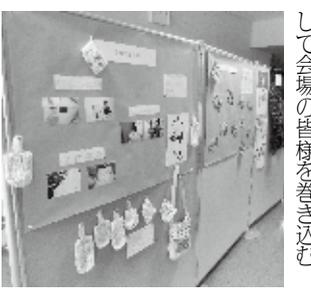


八月二十七日(火)に(公社)南長野青年会議所第二回通常総会をJA長野グリーンパレスにて開催いたしました。

本総会では、第一号議案から第三号議案まで無事に可決され、二〇一四年度の理事長予定者に田村嘉邦君、監事予定者に小山和伯君、外部監事予定者に小坂欣三先輩、そして、次年

2014年度理事予定者紹介

理事長予定者	田村 嘉邦	君 君 氏 君
直前理事長	綿貫 昌三	君 君 氏 君
外部監事予定者	小坂 和伯	君 君 氏 君
監事予定者	小山 一暁	君 君 氏 君
総括副理事長予定者	宮尾 直樹	君 君 氏 君
副理事長予定者	山田 裕司	君 君 氏 君
〃	山本 知計	君 君 氏 君
〃	宮下 嘉文	君 君 氏 君
〃	下城 聖一	君 君 氏 君
専務理事予定者	中島 功雄	君 君 氏 君
委員長予定者	佐藤 寛祐	君 君 氏 君
〃	渡邊 英祐	君 君 氏 君
〃	高橋 淳	君 君 氏 君
〃	小林 敏明	君 君 氏 君
副委員長予定者	海江田勝由	君 君 氏 君
〃	池田 直哉	君 君 氏 君
〃	須田 恭徳	君 君 氏 君
〃	荒井 聡裕	君 君 氏 君
〃	鶴沢 裕	君 君 氏 君
事務局長予定者	鶴沢 裕	君 君 氏 君
事務局次長予定者	北澤 雅博	君 君 氏 君



委員会事業 8月27日(火) JA長野グリーンパレス

改めて考える青年会議所の基本方針・基本動作の習得、ロボット議事法

企画担当 ■ 総務広報委員会

第二回通常総会に引き続き、総務広報委員会主催の委員会事業「改めて考える青年会議所の基本方針・基本動作の習得、ロボット議事法」を同会場にて開催いたしました。



実際の会議内容を模した模擬理事会の開催などJCとして身につけなければならない内容の事業を行いました。突き詰めること非常に内容の濃いものになります。改めて「JCとは」ということに触れられた事業となりました。

9月例会 9月22日(日) 篠ノ井市民会館

第5回ふれあい音楽祭

企画担当 ■ 会員魅力発掘委員会

九月二二日(日)に、篠ノ井市民会館にて、会員魅力発掘委員会主催で九月例会「第五回ふれあい音楽祭」を開催いたしました。



ふれあい音楽祭は、地域の社会福祉事業団体や障がい者団体の方々を対象とした音楽やダンスなどの発表の場として本年度で五年目の節目を迎えることが出来ました。

第一部では、長野盲学校応援団「Nagamo」 ぶらす あるふぁ〜」様、社会福祉法人夢工房福祉会「ワークスペース夢工房」様、社会福祉法人花工房福祉会「エコーンファミリー」様、社会福祉法人絆の会様、D×Pピットウッツ様、障害者福祉施設「長野市栗田園」様の六団体の皆様にこの日のために一生懸命練習していただきました音楽演奏やコーラス、そして会場の皆様を巻き込む

元気あふれるダンスパフォーマンスを発表していただきました。

第二部では、NPO法人長野音楽療法研究会並び、ゲストとしてマリリン&パーカッション演奏者の福島優美氏、ピアノ演奏者の宮下静香氏による音楽療法演奏を披露していただきました。

また、篠ノ井市民会館エントランスにて、どんぐりファーム様、ワークスペース夢工房様、エコーンファミリー様、絆の会様、長野市栗田園様の五つの団体に出品していただき、障がい者の方々が作ったパンやグッズ等の販売も行いました。そして、同エントランス内に各団体の活動写真や音楽祭に向けての練習風景写真等を展示いたしました。



ふれあい音楽祭は、二〇〇九年に総務理事長が当時主催委員長として立ち上げた音楽祭として五年目を迎えました。今後益々この音楽祭が障がい者の方たちの発表の場として、この南長野地域に発信して行きたいと思えます。

委員長所感 中村 文陽

本年は例年通りの音楽発表や物品販売のほかに、障がいに対する理解をより深めていただくこと、施設利用者制作した作品展示と各施設を紹介する為の写真展示も行い、好評を頂きました。また音楽発表も昨年以上の素晴らしいパフォーマンスを披露して頂き、会場内も大いに盛り上がりました。

この音楽祭は毎回そのパフォーマンスに感動し、勇気や元気を貰えます。しかし、それで終わるのではなく、来場された方々はもちろん、何より我々南長野青年会議所メンバーが、障がいをお持ちの皆様、そして各施設や団体の皆様の為に何ができ、どのような支援や協力ができるのかを考えるきっかけになったのなら本事業を開催した意味もあるのではないのでしょうか。

反省点も多々ありますが、私自身、第一回、第三回と担当委員会のメンバーだったこともあり、委員長として迎えた、第五回ふれあい音楽祭は大変思い入れのある事業となりました。

10月例会

10月20日(日) 長野県赤十字血液センター

親子で学ぼう！防災教室

企画担当 ■南長野のたから育成委員会

一〇月二〇日(日)に、長野県赤十字血液センターにて、南長野のたから育成委員会主催で一〇月例会「親子で学ぼう！防災教室」を開催いたしました。

本例会は、近年多発する自然災害に備えて、親子で日頃からの防災意識を高めてもらうことを目的に実施いたしました。

第一部として、東日本大震災において実際に救援活動を行った長野市消防局・篠ノ井消防署・消防救助係の瀧澤忠宏様を講師にお迎えして、震災当時の映像と実際の救援活動の内容をお話いただき、また、長野市で起こりうる災害や防災対策などについて詳しく講演していただきました。

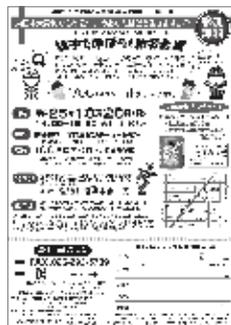


講師 瀧澤 忠宏 氏

第二部として、各グループごとに分かれて実際に被災したときの状況等を問題にして、自分ならどういう行動を取れるべきかを「Yes・No」形式で選び、それについてディスカッションし、その答えをグループごとに発表する「防災カードゲーム」を行いました。このカードゲームでは、明確な回答というものがなく、一問ごとに第一部でお話していただきました消防士の瀧澤忠宏様に取るべき行動の方向性を解説していただきました。



また、長野県赤十字血液センターの京極徳幸様に災害時の献血について詳しくお話をいただきました。



近年の自然災害に対して、まだまだ防災意識が薄いと云われますが、一備えあれば憂いなしの言葉通り、本例会を通じて今後も防災について日頃から親子で意識していただけることを願います。

委員長所感

酒井 総一郎

本事業は親子、家族で学べる内容で開催させて頂きました。青少年の健全育成を図るにはその周りの親や大人の生き方、社会の在り方が深く関わっています。そこで防災というテーマを用い一緒になって改めて親子、家族の絆を考える機会になって頂けたらと思います。第一部では講師の実体験談を聞く事で心に訴え、長野市で起こりうる災害を聞くことで自分自身の事と捉える事が出来たと思います。第二部ではカードを用いたクイズゲームを行いました。当日は計六問の問題をご用意させて頂きましたが、それぞれに内なる意図があります。防災、献血のクイズゲームを行う中で参加者の皆様の様子を拝見している三者三様、色んな意見が飛び交っており嬉しく思いました。親子、家族の絆とは日々のコミュニケーション日々一つひとつが積み重ねとなり、その発展として地域社会への関わりが繋がっていくのではないのでしょうか。本事業を通して参加された皆様には、心のそなえが出来たと思います。今日より明日へ、一歩前へ進んだ行動を起こして頂ければ幸いです。

11月例会

11月23日(土) 南長野運動公園

南長野フェスティバル2013

企画担当 ■南長野の幸せ創造委員会

十一月二三日(土)に南長野運動公園にて、南長野の幸せ創造委員会主催で、十一月例会「南長野フェスティバル2013」を開催いたしました。

本年度、イルミネーションの事業として始めて、六回目の南長野フェスティバルを迎えることができ、昨年からの連携が行っており「食の合戦ながの2013」と協力し実施いたしました。

当日は、天候にも恵まれ昼間から大変な賑わいを見せ、午後一時より受付をいたしました「紙灯籠アリス・メッセ」の受付も多くの来場者の方に思い思いの絵やメッセージを描いていただきました。午後四時より「ポップコーンの振る舞い」を行い、先着三〇〇名分のポップコーンが来場者の方に振る舞われました。また、来場者の方や南長野地域の幼稚園、保育園の園児たちが描いた絵やメッセージがぼんやりと光り輝く紙灯籠として南長野運動公園に灯されました。



そして、午後五時よりイルミネーションの点灯式セレモニーを開催。主催者代表挨拶、ご来賓挨拶、実行委員長挨拶と続き、その後オープニング映像を上映しイルミネーション点灯カウントダウンが始まり、一斉に南長野運動公園がイルミネーションの光に包まれ、来場者の方の感動の音が響きわたりました。

本年は、新たな試みとして、イルミネーション作品を募集し、地域の企業、団体を学校から一〇作品出展いただきました。コンテスト開催期間中に来場者の方に好きな作品に投票をしていただき、十一月一四日(土)に南長野運動公園にて、最優秀作品を決めるイルミネーションコンテストを開催いたしました。最優秀作品として篠ノ井西小学校六年三組の作品が選ばれました。

十一月二三日(土)の点灯式から十一月二五日(木)までの期間、南長野運動公園をイルミネーションの光で美しく輝きました。

委員長所感

宮崎 弘章

昨年、社会開発系の委員長を綿貫理事長予定者に仰せつかった際一月のイルミネーションをどの様に展開していけばよいか、その答えが定まらず悩んでいた際多くの先輩方やメンバーからアドバイスを頂き、また、関係諸団体の皆様からの声を聴く中で本当に南長野青年会議所の柱となっている事業であると共に周りの方々を巻き込むことのできる地域の事業へと変革が必要であると考えようになりました。

そこで、五月、七月と例会を行う中で一月のイルミネーションへと繋げることを考え実行させていただきました。その甲斐もあり、一年を通して多くの方々と共に協力して頂ける事も出来、より多くの協力を得る事が出来たと感じます。

そして、今まで多くの先輩方が工夫し大切に繋げて頂いたお蔭でコンテストの募集の際も非常に熱心な先生方や生徒、父兄の方々からも多くの賛同の声を頂き無事開催する事が出来ました。点灯期間中はコンテスト投票への協力を呼びかける中で、本当に多くの方から励ましの声や感謝の声が聴けて素直に実行委員長が出来た幸せを感じさせて頂きました。開催するにあたって予算の問題や会場改修に関する問題で悩んでいましたが、これだけ地域に認められている事業ですので工夫やアイデアでいくつでも発展継続していけると確信いたしました。今後今回の南長野フェスティバル2013での経験や繋がりをより多くのメンバーと共有出来るよう努めていきたいと思います。



第三回通常総会

12月18日(水) サトウ会館
担当 ■ 総務広報委員会

二月一日(水)に、サトウ会館にて(公社)南長野青年会議所の第三回通常総会を開催いたしました。

総会議事では次年度案件も含めて全ての議案が全会一致により承認され、その後は各役員のバッジ交換、そして綿貫理事長から田村理事長予定者にプレジデントシャルリースの継承を行い、二〇一三年度を締めくくると同時に二〇一四年度へ向けていよいよ発進いたします。



12月例会 12月18日(水) サトウ会館 52期生卒業式 〜私からあなたへ〜

企画担当 ■ 会員魅力発掘委員会

二月一日(水)に、第三回通常総会に続き、会員魅力発掘委員会主催で、二月例会「五二期生卒業式〜私からあなたへ〜」を開催いたしました。



本年の卒業生は、金田隆一君一名となり、とても賑やかに卒業式が行われました。歓談では、各委員会毎に和気藹々と金田君と盛り上がり、今年一年の金

田君の活動を記録したビデオを上映し、最後の卒業生スピーチは、想いが現役メンバーに響くとても素晴らしい話をいただきました。



中村 文陽

委員長所感

二月一日、サトウ会館にて二月例会「五二期生卒業式〜私からあなたへ〜」を開催致しました。

「私からあなたへ」というタイトルは、この卒業式を通して、卒業生からJC活動・運動を通じた思い「私(卒業生)からあなた(現役メンバー)へ」を伝承すると同時に、「私(現役メンバー)からあなた(卒業生)へ」感謝の気持ちを伝えられるように、という想いのもと付けさせて頂きました。

本年度の卒業生は二〇一三年度総務広報委員会委員長を務めました金田隆一君一名のみでしたので、本例会は金田隆一君の為に卒業式となりました。式では委員会ごとの出し物があり、その度に金田君は飲まれ、食われ、変装させられ、と感謝の気持ちの形は委員会ごと様々でしたが、式は終始賑やかに進んでいきました。しかし、最後は金田君より卒業生らしい素晴らしいスピーチをして頂き、その念いに現役メンバーは真剣な眼差しで耳を傾け、その言葉を胸に刻んで頂けたと感じており、まさしくタイトル通りの「私からあなたへ」を形にできたのではないのでしょうか。最後に、金田隆一君に「卒業おめでとうございました」。

南長野JCへ感謝

第五二期卒業 金田 隆一

「ありがとうございます。とにもかくにもその一言に尽きます。ただ何の考えもなく、何となく入会した南長野JC。当初は少しでも仕事の足しになればいいかな。という気持ちで入会した南長野JC。何度逃げよう、やめてしまおうと思ってもいつのまにやらメンバーに引き込まれてしまい、引張ってもらい、続けてこれたという自負みないものが今、私の中にはつきりとあります。

卒業するに当たり、メンバー一人ひとりの笑顔を思い浮かべながらJC生活を振り返ってみると、卒業するのは正直寂しいという気持ちもありますが、ルーム開きで書いた習字の一文「笑」の通り笑顔で卒業する事ができました。改めて言わせてもらいます。本当にありがとうございます。



二〇一三年度御礼

理事長 綿貫 昌夫

二〇一三年度公益社団法人南長野青年会議所第四二代の理事長を務めて参りました綿貫昌夫です。皆様のご理解、ご協力を頂きまして年頭に計画をしました全ての事業を無事遂行する事ができました。本来であれば皆様にお会いさせて頂き、きちんと御礼をさせて頂かなければならぬのですが、師走のお忙しい中だと思しますのでこの紙面にて御礼させて頂きたいと思っております。

本年は「創造と挑戦 地域のリーダー」として一歩前へ、新たな自分として新たな南長野の為に」というス

ローガンを掲げさせて一年間活動させて頂きました。南長野青年会議所メンバーはこの地域で事業を営む事、そして生活させて頂いている事に心から感謝し、率先して地域のリーダーとなり行動する事が必要であります。その行動はやがて社会や地域の周りをも巻き込む事業が展開できる。そんな願いを込め、このスローガンを掲げさせて頂きました。本年執り行われた全ての事業は、このスローガンにある通り、メンバーひとり一人が一歩前に出て行動し、多くの地域の方々と共に事業を展開できたように感じます。

二〇一四年度は田村嘉邦理事長にこの歴史ある「かがり火」を継承し、南長野青年会議所が益々飛躍する事を皆様にお約束し、今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。二〇一三年理事長としての最後のご挨拶とさせて頂きます。一年間、大変お世話になりました。そして、本当にありがとうございます。



理事長 綿貫 昌夫

編集後記

二〇一〇年に東京オリンピック招致、プロ野球楽天が創設初、東北のプロ野球団としても初めて日本一、また富士山が世界自然遺産に登録されるなど今年も明るい話題がたくさんありました。そして今年一年の世相を表す漢字一文字が「輪」。よい事もそうでない事も含めて、日本中がひとつの「輪」になって沸いた一年であったかと改めて感じました。我々南長野青年会議所もひとつの「輪」になって常に「一歩前へ踏み込んだ活動ができたのではないか」と思います。

結びにあたり、先輩諸兄、関係各位に改めて御礼申し上げますと共に、外報紙かがり火の引き続きのご愛読をお願い致します。編集後記とさせて頂きます。一年本当にありがとうございました。

総務広報委員会 委員長 金田 隆一

会員募集!!

南長野青年会議所は、新しい仲間を募集しております!

今しか会えない仲間がいる。今しかできないことがある。

お問い合わせ先
(公社)南長野青年会議所事務局
☎026-292-2310



公益社団法人 南長野青年会議所

〒388-8007 長野県長野市篠ノ井布施高田895-1

TEL : 026-292-2310 FAX : 026-293-5709

E-mail : minaminaganajc@mtg.biglobe.ne.jp

発行元 : 総務広報委員会

編集長 : 金田 隆一

印刷所 : 有限会社サクセス

ホームページ更新中!
是非ご覧下さい!!

南長野青年会議所

検索

かがり火のバックナンバーはホームページでご覧ください。